

「暮らしと金融なんでもデータ」(平成21年度版) 発刊!

「暮らしと金融
なんでもデータ」とは?

「暮らしと金融なんでもデータ」(平成21年度版)は、暮らしと金融、生活設計に関連した主要なデータを幅広く収録しています。昭和47年から金融広報中央委員会の刊行し続けている統計集で、平成19年から隔年発行としています。



内容紹介

生活設計・家計管理に
関する分野

金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」や総務省統計局「家計調査」を中心に、「①家計の収支」では家計の収入や支出の統計を、「②金融資産と負債」では、一世帯当たり金融商品保有額や勤労者世帯の住宅ローン負担等を取り上げています。また、「⑧老後」では、高齢者世帯の所得や介護に関する調査結果などが紹介されています。

仕事や教育に関する分野

「③雇用・労働」で生涯賃金や

年間休日数などを紹介しています。また、「④教育・子育て」では、教育費や大学生の生活費などを掲載しています。消費生活・金融トラブル防止に
関する分野
「⑪生活や金融に関する意識」では、

【主な内容】

目次タイトル	図表数
① 家計の収支	18
② 金融資産と負債	31
③ 雇用・労働	26
④ 教育・子育て	20
⑤ 住宅	15
⑥ 冠婚葬祭	12
⑦ 消費関連	15
⑧ 老後	51
⑨ 高齢化	18
⑩ 社会保障	5
⑪ 生活や金融に関する意識	31
⑫ 一般経済指標	16

(注) 実際の冊子には、上記以外に暮らしに役立つ参考情報、索引などが含まれます。

消費生活センターへのジャンル別相談件数や、金融広報中央委員会「金融に関する消費者アンケート調査」などを用いて金融トラブルなどの経験を紹介しています。

金融や経済のしくみに
関する分野

「⑫一般経済指標」では内閣府「国民経済計算」、日本銀行「金融経済月報」などより国内総生産の推移や株価指数など金融指標の国際比較などを時系列で掲載しています。

主な特徴

- ① 本文は4色カラー刷りで見やすいレイアウトになっています。
- ② A5判で本文184ページとコンパクトで持ち運びに便利です。また、ちょっとした調べものにも最適です。
- ③ 専門的な統計書とは違い生活に密着したデータが中心なので、一般の方にも身近なデータが満載です。また、地域比較統計、国際比較統計も充実しており統計のヘビューザーの方にも便利な一冊となっています。

平成21年度版は
ここが違う!

① 平成21年度版は、平成21年10月までに更新された統計を反映しています。また、更新が難しいデータについては統計の差し替えなどを行い、より最新の動向を反映したものといたします。

② 制度解説はコンパクトにする一方で、振り込め詐欺など最近話題となっている統計を盛り込みました。

③ 生活に身近な、おこづかいのもらい方、葬儀費用、金融トラブルの経験、金融商品に係る消費者トラブルなども追加・改訂しています。

■ 知るばるとホームページに全データを掲載しています。
<http://www.shinporuto.jp/finance/tokei/stat/index.html>

■ ご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。

宛先は shinpo@saveinfo.or.jp